

公益財団法人渥美国際交流財団
2024 年度事業計画
事業年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

■留学生及び日本人学生の奨学事業【公 1】（公益目的事業 1）

➤ 奨学金支給（53.150 千円）

(1) 渥美奨学金の支給（49,250 千円）

渥美奨学生に月額 25 万円の奨学金を支給する。

※第 29 期生のうち 9 月支給開始の 1 名に 2024 年 4 月～8 月分を支給する。

※第 30 期生のうち 16 名に 2024 年 4 月～2025 年 3 月分を支給する。

渥美奨学生は月例会に参加しなければならない。月によって学業の進捗状況について報告する個別面談と、グループで集まる交流会がある。奨学金は毎月上旬に銀行振込で支給する。

(2) 博士号取得者の海外学会参加者奨学金（900 千円）

渥美奨学生で博士号を取得した者に、海外で開催される学会等に参加するための旅費・宿泊費等を支給する。海外に居住する者は、日本への旅費等に充当することができる。（30 万円を上限とする）

(3) 元奨学生を対象とした継続支援奨学金（3,000 千円）

奨学金支給期間に博士号を取得できず、現在も常勤職につかずに研究を続けている者（見込み 10 名）に各 10 万円の奨学金を 6 月、12 月、3 月に支給する。

➤ 募集選考（1,000 千円）

(4) 2025 年度第 31 期奨学生（16 名）の募集・選考（1,000 千円）

7 月 1 日 募集要項配付開始（各大学院に送付・ウェブに掲載）

9 月 1 日 応募受付開始

9 月 30 日 応募締め切り

10 月中旬 予備書類選考

11 月上旬 予備面接

12月7日 最終選考会

※海外の大学院で博士号を取得するために1年間来日して調査研究する人を採用した場合には、往復旅費を追加支援する。

➤ 生活支援 (2,850 千円)

(5) 月例会 (1,850 千円)

1. 毎月の交流会 (*財団理事・評議員・選考委員との交流会) (850 千円)

- 4月 月例会
- 5月 個別面談
- 6月 評議員会後の懇親会*
- 7月 宿泊研修
- 8月 食事会
- 9月 個別面談
- 10月 2023年度奨学生秋季研究報告会*
- 11月 見学会
- 12月 忘年会*
- 1月 新年会
- 2月 個別面談
- 3月 2024年度奨学生春季研究報告会*
- 3月 2024年度奨学生最後の食事会

2. 宿泊研修を開催 (1,800 円)

日時：2024年6月28日(金)～6月30日(日)

会場：シャトレーゼにらさきの森

(6) フォローアップ事業 (200 千円)

1. 宿泊研修(7月)、秋季研究報告会(9月)、忘年会(12月)、新年会(1月)、春季研究報告会(3月)に講師、あるいは参加者として元奨学生を招待。
2. その他適時世界各地またはオンラインでラクーン会(同窓会)を開催

■留学生及び日本人学生を通じた国際交流事業 (SGRA の活動) 【公 2】 (公益目的事業 2)

➤ 学術交流プロジェクトの開催

(7) 第7回アジア未来会議 (53,800 千円)

1. 第 7 回アジア未来会議を開催

名 称：第 7 回アジア未来会議

テーマ：Revitalization and Reconnection 再生と再会

会 期：2024 年 8 月 9 日（金）～ 13 日（火）（到着日、出発日を含む）

会 場：チュラーロンコーン大学 タイ国バンコク市

規 模：参加者 500 名（登録参加者 400 名 その他参加者 100 名）

主 催：（公財）渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

共 催：チュラーロンコーン大学文学部東洋言語学科日本語講座

後 援：（申請予定）タイ日本国大使館、国際交流基金バンコク日本文化センター、その他

助 成：（申請予定）公益財団法人高橋産業経済研究財団、一般社団法人東京倶楽部、その他

協賛/賛助：国内及びタイ（タイ鹿島を中心に）で関連企業に募金中。

開催組織：

大会委員会 会 長：明石 康（元国連事務次長）

副会長：渥美直紀（渥美国際交流財団理事長）

副会長：スラディート・チョティウドムパン

（チュラーロンコーン大学文学部学部長）

実行委員会 委員長：今西淳子（渥美国際交流財団常務理事）

学術委員会 委員長：平川 均（名古屋大学名誉教授）

タイ委員会 委員長：片桐カノックワン・ラオハプラナキット

（チュラーロンコーン大学文学部准教授）

※詳細はアジア未来会議企画書およびウェブサイト参照

2. 優秀論文集『アジアの未来へー私の提案 Vol.7』の出版（アジア未来会議に予算計上）

外部資金：高橋産業経済研究財団に助成申請中

(8) SGRA フォーラム、カフェ、海外拠点プロジェクト等を主催・共催（7,700 千円）

1. 第 22 回日韓アジア未来フォーラム（600 千円）

テーマ：「日韓協力の未来ビジョン、原則、そして協力方向—2025 年日韓国交正常化 60 周年に向けて（仮）」

日時：2024 年 5 月

会場：ソウル市

言語：日本語・韓国語（同時通訳）

参加者（見込み）：50 名

担当：金雄熙（仁荷大学）

外部資金：韓国（財） 未来人力研究院と共催

2. 第 9 回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性
※第 7 回アジア未来会議の円卓会議として開催（アジア未来会議に予算を計上）
テーマ：「東アジアの『国史』と東南アジア」
日時：2024 年 8 月 10 日（土）～12 日（月）
会場：チュラーロンコーン大学（タイ国バンコク市）
言語：日本語・中国語・韓国語（同時通訳）
参加者（見込み）：100 名
担当：李恩民（桜美林大学）
外部資金：東京倶楽部に助成申請中

3. 第 17 回ウランバートル国際シンポジウムを共催（300 千円）
テーマ：未定
日時：2024 年 8 月
会場：未定
協力機関：昭和女子大学国際文化研究所、モンゴル国立大学社会科学部、他
言語：日本語・英語・モンゴル語
参加者（見込み）：日本、モンゴル、ロシア、中国、韓国、ドイツからの研究者 100 名
担当：ボルジギン・フスレ（昭和女子大学）

4. 第 11 回日台アジア未来フォーラム@EACJS（1,000 千円）
テーマ：「疫病と東アジアの医学知識——経験と予防」
※東アジア日本研究者協議会第 8 回国際学術大会にて
日時：2024 年 11 月 8 日（金）～10 日（日）
会場：淡江大学（台湾）
協力機関：東アジア日本研究者協議会第 8 回国際学術大会、淡江大学、
中鹿營造股份有限公司、他
参加者（見込み）：50 名
担当：藍弘岳（中央研究院）

5. 東アジア日本研究者協議会第 8 回国際学術大会を協催、3 セッションを主催（1,800 千円）
日時：2024 年 11 月 8 日（金）～10 日（日）
会場：淡江大学（台湾）
派遣者（見込み）：20 名（企画案を公募中）

6. 第 18 回 SGRA チャイナ・フォーラムを主催（1,500 千円）
テーマ：後小路雅弘先生講演：東南アジアの近代美術史に関して

日時：2024 年 11 月 23 日

会場：北京大学 + オンライン（ハイブリッド）

協力機関：北京大学日本文化研究所、清華東亜文化講座、国際交流基金北京日本文化センター

言語：日本語・中国語（同時通訳）

参加者（見込み）：300 名

担当：林少陽（澳門大学）、孫建軍（北京大学）

7. 第 73 回 SGRA フォーラムを主催（1,000 千円）

テーマ：「未定」（企画案を公募中）

日時：未定

会場：ハイブリッド

言語：未定

参加者（見込み）：100 名

担当：未定

8. 第 22 回、23 回 SGRA カフェを主催（500 千円×2）

テーマ：「未定」（企画案を公募中）

日時：未定

会場：ハイブリッド

言語：日本語

参加者（見込み）：100 名

担当：未定

9. 持続可能な共有型成長セミナーを SGRA フィリピンと共催（500 千円）

2024 年 5 月 41 回 UPOU + オンライン

2024 年 9 月 42 回 UPOU + オンライン

2024 年 11 月 43 回 UPOU + オンライン

2025 年 1 月 44 回 UPOU + オンライン

※UPOU フィリピン大学オープン大学（放送大学のような機能をもつ）

10. その他

2025 年 1 月 に SGRA フォーラム・カフェ・セッション及び東アジア日本研究者協議会における SGRA セッションの企画案を、元渥美奨学生を対象に公募

➤ 研究交流プロジェクトの成果等の発信

(9) SGRA レポートの発行

1. フォーラムの講演録の冊子をレポートとして発行し、会員他に送付する。(3,500 千円)
発行部数は各号 800~1000 部。また、PDF 版をホームページに掲載する。

2024 年度に 4 冊発行予定。

- ・ 第 106 号「20 世紀の戦争・植民地支配と和解はどのように語られてきたのか」
(日中韓 3 言語版)
- ・ 第 107 号「東南アジアにおける近代<美術>の誕生」(日中合冊版)
- ・ 第 108 号「東アジアの『国史』と東南アジア」(日中韓 3 言語版)
- ・ 第 109 号 未定

[レポート送付先]

- ・ 賛助会員と特別会員(顧問、講師、元渥美奨学生 他) 約 600 名
- ・ 国立国会図書館に納本 (ISSN 1346-0382)
- ・ 鹿島建設資料室に納本
- ・ 国内大学留学生センター、図書館、メディア、政党等に納本 約 70 機関
- ・ 海外の日本研究センター、図書館等に納本 約 60 機関

2. SGRA レポートの教材化プロジェクト (1,400 千円)

高校や大学の授業の副教材として使ってもらえるように、レポートの内容から PPT と動画を作成し、SGRA ホームページから誰でも無料で利用できるようにする。

2024 年度に 2 冊教材化をめざす

- ・ レポート第 90 号「第 4 回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性ー『東アジア』の誕生ー19 世紀における国際秩序の転換ー」
- ・ レポート第 99 号「夢・希望・嘘ーメディアとジェンダー・セクシュアリティの関係性を探るー」

(10) メールマガジンの配信 (1,250 千円)

- 1 SGRA かわらばんの配信 (500 千円)

世界各地の会員のエッセイと SGRA フォーラム等の案内を、毎週木曜日に電子メールで配信。
配信先は 3007 名。

- 2 国史メルマガの配信 (750 千円)

国史たちの対話関係者のエッセイを日中韓 3 言語で、毎月 1 回電子メールで配信。
配信先は過去 8 回の国史対話円卓会議出席者 389 名。

- 3 SGRA China Forum Email Letter

SGRA チャイナ・フォーラム出席者に、案内、報告、レポート等を中国語で不定期に配信。
配信先は 540 名。

■上記公益目的事業の基盤整備（1,800 千円）

(11) ホームページの管理運営（500 千円）

渥美財団：<http://www.aisf.or.jp>

関口グローバル研究会：<http://www.aisf.or.jp/sgra/>
SGRA in English | SGRA in Chinese | SGRA in Korean

アジア未来会議：<http://www.aisf.or.jp/AFC/>

(12) 寄附金・助成金

- 1 書面による SGRA 活動賛助寄附依頼（5 月～9 月）
- 2 賛助企業・寄附者を訪問依頼（12 月～1 月）
- 3 国際交流事業の各プロジェクトのために助成金申請と賛助寄附金を募金

(13) 2023 年度年報（1300 部）（1,000 千円）

(14) 公益財団法人、在日留学生支援団体との情報交換と交流（300 千円）

- ・ 留学生奨学団体連絡協議会（JISSA）
- ・ 留学生教育学会（JAISE）
- ・ （公財）助成財団センター（JFC）
- ・ （公財）公益法人協会

■その他

(15) 理事会と評議員会（予定）

第 47 回理事会 2024 年 5 月（未定）

第 18 回評議員会 2024 年 6 月 6 日（木）（鹿島建設 KI ビル）

第 48 回理事会 2024 年 12 月（未定）（渥美財団ホール：忘年会の前に）

第 49 回理事会 2025 年 3 月 1 日（土）（渥美財団ホール：研究報告会の前に）

(16) 渥美財団創立 30 周年祝賀会（夕食会）をアジア拠点地で開催（2,000 千円）

ソウル：日韓アジア未来フォーラムと同時期に

台北：日台アジア未来フォーラム@EACJS と同時期に

中国（できれば上海）：未定